

銚子・屏風ヶ浦指定へ

名勝及び天然記念物

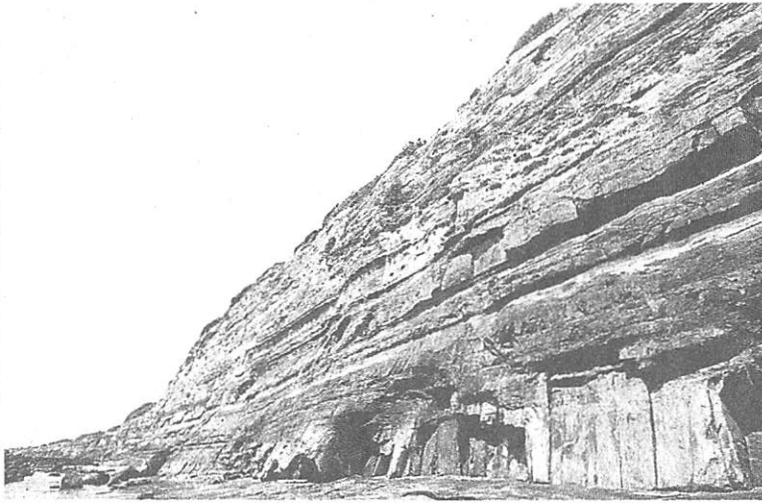
20日に開かれた国の文化審議会は、浮世絵師・歌川広重の大作「六十余州名所図会」にも描かれた「屏風ヶ浦」(銚子市)を、国の名勝及び天然記念物に指定するよう文部科学相に答申した。また、既に主要地が史跡指定されている「下総小金中野牧跡」(鎌ヶ谷市)と「貫谷貝塚」(市川市)について、新たに条件が整った部分を追加指定することも答申した。正式な指定は来春になる見込み。

〔岡崎大輔、武田良敏〕

「世界に発信したい」

市長は「この財産を保存し価値を高める責任を感じる。後世に継承するため世界に発信したい」とコメント。ポ

県教委によると、屏風ヶ浦は東北東部に位置する下総台地を削る海食崖で、銚子市犬岩から旭市刑部岬まで、太平洋に面して約10キロにわたり連続。江戸後期以降、景観は名所記や名所図会で取り上げられ、絵はがきなどにも描かれ、その価値について「地質学上、観賞上の価値が高い」として、屏風ヶ浦を含む一帯は「大地の公園(遺産)」として「日本ジオパーク」に認定されており、市は地域振興の目玉に位置付ける。越川信一



高さ40〜50メートルの海食崖が長さ約10キロにわたり続く「屏風ヶ浦」。英国ドーバー海峡のホワイトクリフ「ホワイトスエ」東洋の「ドーバー」と呼ばれる

小高記念館が国有有形文化財に
また、文化審は、館山市館山の海岸通りに面した「小高記念館」を登録有形文化財(建造物)に指定することも答申した。
小高記念館は大正初期に千葉銀行の前身の「古川銀行鴨川支店」として建てられた木造2階建ての洋風建築。



国指定有形文化財に登録が答申された小高記念館一館山市で

ランテニア観光ガイドなどを続ける「銚子ジオパーク推進市民の会」副会長の小玉健次郎さん(73)は「雄大な地形の歴史や魅力を広く知ってもらおうきっかけになる。盛り上げたい」と話した。
答申通り指定されれば、県の国指定名勝は4件、特別天然記念物を含む天然記念物は17件となり、国指定文化財は計133件になる。

点として館山港にほど近い現在地に移築された。戦後は小高薫郎衆院議員(1902〜97年)の事務所を経て、地域の水産関係や文化財の「資料館」として使われた。小高氏の死去後は使われず朽ちかけていたが、NPO安房文化遺産フォーラム(愛沢伸雄代表)が小高家の了解を得て2006年から活動拠点として使っている。
愛沢代表は「外壁の塗装など手間はかかるが、内部はしっかりした造り。文化財として認められたのを期に、街づくりの拠点という小高先生の遺志を受け継いでいきたい」と話している。

【中島章隆】

関東大震災で館山地区の主要な建物が壊滅したこともあり、1930年に水産業の拠